

# 日本語を学ぶ子どもたちを育む

## 「鈴鹿モデル」

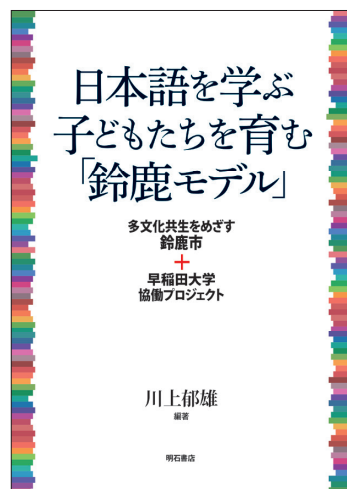
多文化共生をめざす鈴鹿市  
+  
早稲田大学協働プロジェクト

川上 郁雄 編著

●定価(本体 2,500 円 + 税)

A5判/並製/320頁

戦後から一貫して同和教育、人権教育を推進し、そして90年代から増加する外国籍住民への多文化共生教育を計画していた鈴鹿市と「JSLバンドスケール」を開発した早稲田大学との日本語教育の協働プロジェクト12年の軌跡。「人権教育」「日本語教育」「多文化共生教育」を基本に、子どもたちの「日本語力」と「学力」を育む実践をどのように展開したのかを明らかにする。



### ◆ 内容構成

#### 第1部 「鈴鹿モデル」とは、何か

- 1 鈴鹿市は、どのような教育を目指しているのか
- 2 「鈴鹿モデル」の構築(2008～2013年)
- 3 「鈴鹿モデル」の発展(2014～2019年)

#### 第2部 「鈴鹿モデル」は、どのように構築されたのか

「JSLバンドスケール」「日本語教育コーディネーター」「プロジェクト会議」に関する10人の証言

- 1 学力をつけることは、人権教育で一番大事なこと  
教育委員会の立場から① 【西繁】
- 2 日本語教育を、人権教育の一環として位置づけることが大切  
教育委員会の立場から② 【篠原政也】
- 3 「共に生き、共に学ぶ」こと 同和教育を出発点にした教員の立場から  
【臼杵 伸子・江藤 健一・平田 真一】
- 4 楽しい実践、子どもが元気になっていく実践は、先生たちも嬉しい  
日本語教育コーディネーターの立場から① 【中川智子】
- 5 連携、それはみんなの意識が変わることから生まれる  
日本語教育コーディネーターの立場から② 【植村恭子・杉谷直美】
- 6 連携して、子どもたちの進路保障を  
日本語教育コーディネーターの立場から③ 【市川泰】
- 7 JSLバンドスケールを活用した実践と支援体制は欠かせない  
日本語教育コーディネーターの立場から④ 【吉川 恵】

#### 第3部 鈴鹿の実践

- 実践① 進んで学習に取り組む児童の育成  
国際教室の取り組み 【大西依子】

- 実践② 「自分」への気づきの中で成長する子ども  
イスラムの文化・習慣の中で生きる6年児童への支援 【園田みゆき】
- 実践③ 思考力・表現力を育てる  
在籍学級への学びをつなげるために 【吉川 恵】
- 実践④ 未来に向かって  
仲間とともに考える 【中川智子】
- 実践⑤ 多文化共生教育の取り組み 【大山久美】
- 実践⑥ 学校全体で取り組む多文化共生教育 【植村恭子】
- 実践⑦ ネットワーク会議、夏季研修講座、そして多文化共生教育実践EXPO
- 実践⑧ 「日本語教育ガイドライン」

#### 第4部 ことばの力と学力

- 1 「JSLバンドスケール」の考え方と実践
- 2 「JSLバンドスケール」の見立てと「学力調査」の結果
- 3 JSL児童生徒と「学力調査」
- 4 これから鈴鹿でどのような実践を行い、どのような力を育成するのか

#### ◆ 編著者紹介

川上郁雄(かわかみ・いくお)

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授。  
オーストラリア・クイーンズランド州教育省・日本語教育アドバイザー(国際交流基金派遣日本語教育専門家)、宮城教育大学教授等を経て、2002年より現職。  
博士(文学、大阪大学)。  
専門は、日本語教育、文化人類学。

明石書店 TEL.03-5818-1171  
FAX.03-5818-1174  
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp>

ご注文方法

◎最寄りの書店へ、このチラシご持参の上、ご注文下さい。  
◎直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。  
代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。  
書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律500円かかります。

番線印	日本語を学ぶ子どもたちを育む「鈴鹿モデル」 多文化共生をめざす鈴鹿市+早稲田大学協働プロジェクト
	川上郁雄【編著】 ISBN978-4-7503-5183-4 ●本体価格 2,500 円 + 税
	フリガナ TEL
	お名前
	ご住所 〒
冊	

明石書店

TEL 03-5818-1171  
FAX 03-5818-1174